

2004年7月12日

各位

株式会社アールテック・ウエノ
参天製薬株式会社

緑内障・高眼圧症治療剤「レスキュラ[®]点眼液」に関する 販売提携のお知らせ

株式会社アールテック・ウエノ(本社:兵庫県三田市)と参天製薬株式会社(本社:大阪市)は、本日、アールテック・ウエノが製造承認を持つ緑内障・高眼圧症治療剤「レスキュラ[®]点眼液」(一般名:イソプロピル ウノプロストン)の国内販売に関する契約を締結しました。この契約により、参天製薬は同剤の国内における独占的販売権を取得し、10月1日から販売を開始します。アールテック・ウエノは、「レスキュラ[®]点眼液」に関わるマーケティングおよびプロモーションの基本方針を策定すると同時に、「レスキュラ[®]点眼液」専任の医薬情報担当者(MR)約30人で、一部の医療機関に対して自らプロモーション活動を行います。

「レスキュラ[®]点眼液」は、代謝型プロスタグランジンを用いた世界初の緑内障、高眼圧症治療薬として1994年に承認されました。「レスキュラ[®]点眼液」は、眼局所および全身性副作用が少なく、1日2回投与で安定した眼圧下降作用をもたらすだけでなく、視神経保護作用と眼血流量増加の作用メカニズムにより、緑内障(正常眼圧緑内障を含む)および高眼圧症の患者さんの視野を長期に維持する優れた治療効果が認められ、発売以来10年にわたり、臨床の場で高い評価を頂いております。

アールテック・ウエノは平成元年の創立以来、プロスタグランジン類を用いた医薬品の研究、開発、製造を中核に、迅速で効率的な開発指向型医薬品製造ビジネスを展開してきました。従来、プロスタグランジンの代謝物には生物活性がないとされていましたが、アールテック・ウエノの創業者である上野隆司博士は、そのなかに局所的に有効な活性を発見し、「レスキュラ[®]点眼液」として製品化することに成功しました。今年、「レスキュラ[®]点眼液」発売10周年の節目を迎え、開発者としての視点を活かして、眼科領域で豊富な経験と実績を有する参天製薬とともに、医療現場や患者の皆様に顔の見える開発会社として貢献していきます。

参天製薬は、すでに「デタントール®点眼液」「チモプトール®XE」ならびに「チモプトール®」などの緑内障治療剤を販売していますが、この契約により新たな緑内障治療剤が加わることで、同領域でのラインナップがさらに強化され、緑内障の患者さん一人一人の病態に合わせたよりきめ細かな治療提案が可能となります。参天製薬では、「レスキュラ®点眼液」の販売により、医療用眼科薬では最大の約 400 人の医薬情報担当者 (MR) と眼科に関する豊富な知識やネットワークの蓄積を生かして、医療現場への貢献をより一層深めることができると確信しています。

「レスキュラ®点眼液」は上野製薬株式会社がアールテック・ウエノからの技術導入により開発し、1994 年に製造承認を取得、2001 年にアールテック・ウエノが上野製薬から本剤の権利を承継しました。国内では、これまで藤沢薬品工業株式会社がアールテック・ウエノとの契約により「レスキュラ®点眼液」の販売を行ってきましたが、6 月 30 日のお知らせの通り、藤沢薬品工業とアールテック・ウエノは 9 月末日で販売提携を解消することで合意しています。

以上

お問い合わせ先:

株式会社アールテック・ウエノ
ビジネスマネージメント部 橋寺 由紀子
(TEL 079-560-7181)

参天製薬株式会社 (証券コード: 4536、東証・大証第一部)
コーポレート・コミュニケーショングループ 田中 政男
(TEL 06-6321-7007)